



まちで起こった出来事や気になるあの人を紹介します



岐阜県・三重県高校野球交流大会（長良川球場）

### 大道芸で子どもに笑顔を

## 夏休みこどもまつり

8月1日(土)、2日(日)に旧中里小学校のcafe ういこっちゃんねで、夏休みこどもまつりが開かれました。

これは、こども食堂などで大道芸を楽しんでもらおうという「スマイルごはんプロジェクト」の一環として企画されました。cafe ういこっちゃんねは大道芸人3人が地域おこし協力隊として活動しているため、この企画に賛同。100円で料理と飲み物を提供し、1日3回大道芸のステージが開かれました。

ステージでは、大道芸人たちがバルーンアートや椅子を使ったパフォーマンスを披露して、観客を驚かせていました。コロナウイルスの影響で距離を空けて、歓声をあげずに拍手だけという環境でしたが、マスク越しでも参加者が笑顔になっているのが分かりました。藤原町の森悠くんは「風船がもらえて嬉しかった」と喜んでいました。



1. 多くの人が大道芸を楽しみました。2.3 大道芸人「くす田くす博」さんは科学を使ったパフォーマンスやアクロバットを披露 4. 風船をふうってしたら膨らんだ

### おみこし わっしょい!

## 保育園で夏の催し

7月17日(金)、丹生川保育園で恒例の夏の催しとして、園児たちがみこしを担ぎました。例年は、保護者や地域の人たちも参加していましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園児のみで行いました。



5歳児がみこしを担ぎ、2～4歳児がうちわを手にしながら「わっしょいわっしょい」と大きな掛け声で応援しました。

みこしの装飾には年ごとにテーマがあり、今年のテーマは「自分の好きなもの」でした。園児たちはカブトムシや手裏剣などを折り紙で作って、みこしに飾り付けていました。

1. みんなで声を掛け合いながら元気いっぱい担ぎました 2. お兄ちゃんお姉ちゃんたち頑張れ!



### ふるさといなべの歴史を伝えるために尽力

## 観光事業振興功労者表彰

「ふるさといなべ市の語り部の会」の伊藤忠さんが、県の観光事業功労者として表彰されました。伊藤さんは語り部の会の会員と、市内名所・旧跡などの歴史を多くの人に周知してきました。

伊藤さんは「語り部の活動は私の生きがいです。長く続けられたのは、会員みんなのおかげです。これからも頑張ります」と話しました。



### 練習の成果を発揮

## 大安中吹奏楽部の演奏会

8月8日(土)、にぎわいの森で大安中学校の吹奏楽部による演奏が披露されました。これは夏のコンクールがコロナウイルスの影響で中止となったことから、部活動を引退する3年生にとって最後の演奏会として特別に企画しました。

大安中学校は、楽器寄附ふるさと納税の制度を利用し、全国から寄附された楽器で演奏を行っているため、感謝の音色を届けるため、インターネットを通じて寄附者にも映像が提供される予定です。



### いなべの自然を活かした

## 夏あそびワークショップ

7月25日(土)、26日(日)、にぎわいの森で「夏あそびワークショップ」を開催しました。これは、いなべの自然素材を使って遊びや学びのきっかけをつくる催しで、間伐材のネームプレートづくりと水鉄砲づくりに約100組が参加しました。

ネームプレートづくりは、フォント開発・販売を行う㈱モリサワの協力を得て実施。いなべの間伐材に、枝や葉を組み合わせた文字を印字するもので、参加者は表札や部屋の表示などを思い思いに作成していました。菰野町の藤田蒼生くん(小学4年)は「文字づくりが楽しかったです。何の文字にするか迷いましたが、本が好きな『BOOK』にしてみました」と話していました。

水鉄砲づくりは、立田地区ボランティア組織で活動する木村光男さんを講師に迎え行いました。のこぎりやキリの使い方を教わりながら、大人も子どもも一から手づくり。できあがった水鉄砲で、遠くまで水を飛ばしていました。



1. 間伐材のネームプレート 2. フォントや文字サイズの違いによる見やすさのアンケートを実施 3. 集中して水鉄砲をつくる児童